

泉大津高校同窓会報

2011. 2. 4

No.23

発行 大阪府立泉大津高等学校 同窓会事務局
〒595-0012 大阪府泉大津市北豊中町1-1-1
学校事務所

TEL.0725-21-6355 FAX.0725-21-6355
TEL.0725-32-2876 FAX.0725-32-6394

デザイン・印刷 株式会社 サラド
〒670-0948
兵庫県姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380
http://www.salat.co.jp/

校歌

作詞 辻野 忠
作曲 和久井 忠

一 緑なす穴師の原と朝に日に

真理を求め枝を練り

文化の花をかきさな

あゝ使命にたてり

学園大津

二 土がやし大津の空を白鳥と

強く正しし天がけり

平和の国の天使たれ

あゝ祖国のもとへ

学園大津

三 たなせはる和泉の山よ力なり

たかへ血潮にいや高き

理想の学舎うちたてん

あゝ我等が誇り

学園大津

同窓会総会・70周年事業のご案内

～ 本年11月で70周年を迎えます。さらなる飛躍へカウントダウン～

＝総会日程＝

11月13日（日）

総会 午後1時より 懇親会 午後2時より

場所 泉大津高校内 同窓会館

参加費 2,000円（本年度卒業生は無料）

＝70周年事業日程＝

11月19日（土）

詳細・進行状況等は同窓会HPにて随時更新

予定や詳細等は同窓会ホームページにて随時お知らせしております。

泉大津高校同窓会

検索

<http://www.izumiotsuko-obog.net/>

※予定は状況により変更になる場合がございます。



ご挨拶

同窓会会長 平野耕平 (第11期生)

皆様、日頃は同窓会活動にご尽力、ご協力をいただき誠に有難うございます。

今回、山根前会長から引き継ぎました第11期卒業の平野でございます。山根前会長8年間ほんとうに、ほんとうに有難うございました、またお疲れ様でした。伝統のある我が泉大津高校の名に恥じないように尽力したいと思っております。

同窓会は現時点で26,000名余のOBがおり今年70周年を迎えることとなりました。

同窓会運営におきましては皆様のお力をお借りしながら和気あいあいとやっていきたいと思う次第です。皆様も楽しくご協力お願い申し上げます。

今も尚、同窓会の役目は同窓会員の親睦をはかることが一番の使命であります。OBとの懇親や様々な交流など幅広くタイムリーに伝えるにはインターネットの存在は大きなものです。今までの会報誌は2年に1回であり、そのためには同窓会のホームページが必要だと感じました。当時はまだ、ホームページの制作にあたり、時期尚早ということで計画が頓挫しました。当時の役員さんに「これからこれは絶対必要や」ということを進言した結果、話が進み約2年程前からプランを立てましたが、色々資料が足りませんでした。

60周年から70周年にかけて、当時の資料を色々調べました。今思うといかに後々の為にも資料を残すことが大事だと思い知らされました。開設に至るまで大変でしたが母校愛のかたまり、誰かがやらねばという思いでプランを練りようやく形が整った次第です。同窓会親睦の為、関わった方は並々ならぬ尽力だったと感謝しております。そのおかげでスムーズに計画を進めることができ2009年には同窓会ホームページも産声をあげ、現段階において発展(育成)を続けております。

ご存知ながらホームページは全国いや全世界からも閲覧できます。開設後は住所変更届や同窓会のへの寄付、激励のメールや、今では各期同

窓会の告知など今時の同窓会の手紙、ハガキでなくメールでの案内に同窓会ホームページを活用していただいています。近年では35年ほど海外生活を経て東北大学大学院国際文化研究科のOBの宮本教授からは同窓会の問い合わせや心温まるメールまでいただき感動したこともありました。最近ではいろいろの方面からアクセスがあります。このようにホームページは発展性のある活用ツールでありリアリティでタイムリーな媒体であると考えています。

またこの同時期に前後し当時校長からの土曜講習の構想がありました、2008年のことです。同窓会として側面から何かできないかということで色々考え、OBから母校に還元してやろうという人材を探した結果、教育関係の仕事に携わるOBが母校の為土曜講習に協力してくれ授業のない土曜日を使い、生きた英語講習を在校生に教えるといった公立高校では画期的なシステムの導入に関わってもらい、今では在校生の勉強レベルを引き上げてくれる一翼を担ってくれています。現在で2年目ではありますが、母校からの報告では随分成果がでているようです。これは母校の特色のある活動でイメージアップにつながり、入学の促進につながるのだと信じています。近況は母校並びに同窓会ホームページに載せておりますので是非閲覧していただきたいものです。

さて今年70周年の記念行事が控えております。私達に出来ることは母校と在校生の良き応援団とそして先輩として何かできることがないかと考えます。

今回は新体制のもと70周年事業を始め色々なことに楽しみながらチャレンジして行きたいと思います。

また現在発行している会報についても色々なアイデアをもって乗り切りたいと思います。

また母校を卒業し母校愛精神をもった人材が結集すればその可能性が充分にあります。

まずはコミュニケーションを大切にしたいと思います。コミュニケーションを持続するには「報連相」が重要です。役員幹事は是非連絡を取り合うことを大切にしながら、同窓会の絆をより一層深いものになりますようにお願い申し上げます。

最後に70周年をむかえるにあたり、ホームページ、土曜講習が成長しているのも山根前会長以下役員さんの協力のおかげだと思います。



ご挨拶

校長 下野敏幸

同窓会の皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。私は平成22年4月佐野工科高校より19代目の校長として転任しました下野敏幸と申します。

現在、泉大津高校には988名の生徒が在籍しておりますが、日夜、勉強はもちろんのこと、運動部や文化部の活動などに励みながら青春を謳歌しているところ です。

時代や社会の変遷あるいは保護者の価値観の多様化に伴い、生徒気質に若干の変化は見られますが旧制の府立高等女学校以来の良き伝統・校風は今なお残っておりますし、また今後とも継承していかなければならないと考えております。

さて、教育をめぐる情勢につきまして、国においては、平成18年12月に教育基本法が改正されたほか、授業料の無償化も始まりました。私は入学式の式辞で「今年度より、日本の社会全体で広く学びを支えるという趣旨で授業料が無償になりました。今まで以上に、人は何故勉強するのかを問うてほしいと思います。幕末に活躍した人に吉田松陰がいます。彼は、長州藩今の山口県出身で松下村塾を主宰し多くの人材を育てた人です。黒船に乗ろうとしてつかまり、30歳で処刑されました。11歳で殿様に勉強を教えるほど非常に優秀な人でしたが、こんな逸話が残っています。叔父さんの玉木文之進から勉強を教わっているときまとわりついた虫を払おうとして松陰は体を動かしたところ、突然、先生の文之進は『お前は学問をする資格がない。死んでしまえ』と棒でたたき始めました。文之進の主張

は『わたしが勉強を教えるのは公、松陰の行動は私事だ、個人の事情を優先するとは何事だ』。現在、教える方にも学ぶ側にも公の意識が抜け落ちていないのでしょうか。将来の有意義で幸せな人生を送るための基礎固めをしてください。」と新入生に語りかけました。

変化の激しい現代社会において生徒一人ひとりの個性の伸長を図るという理念のもと、自ら学ぶ意欲を持ち社会の変化に対応できる人材を育成するために、全国的に高等学校教育改革や特色化が推進されています。大阪においては、すべての府立高校が魅力を高めあい「入ってよかった」と言われる学校を目指すことを基本方針に『『大阪の教育力』向上プラン』が平成21年1月に策定されました。伝統的に、本校へ入学してくる生徒の卒業後の進路は就職から理系大学まで幅広いため、将来社会人として必要な基本的な教養を身につけさせることと多様な進路に対応できるカリキュラムを保持し、進化させることが本校の使命であり、知・徳・体の調和のとれた人間育成を通じて、地域に信頼される「明るく、楽しい、元気で活気のある伝統校」、「入りたい」、「入ってよかった」、「卒業してよかった」と中学生、在校生、卒業生に言われる学校をめざしています。

今年70周年を迎える節目の年です。新しい制服も決まり、同窓会会長を長とする創立70周年記念事業実行委員会も発足し活動も始まっています。

本校の同窓生である皆さま方が各界で活躍されているその姿を拝見することによって生徒たちは大いに勇気づけられております。

私どもは、生徒たちが諸先輩方の頑張っておられる姿を目標にしつつ、学業や部活動に全力投球し、最終的には卒業後もそれぞれの世界において人生を生き抜く力を身につけられるよう、指導してまいりたいと思っております。今後とも皆さま方の温かいご支援をよろしく願います。

最後に、同窓会のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝を心から祈念申し上げます。



母校と共に歩む

同窓会名誉顧問 池田忠雄

昭和23年学区制により鳳中学から、(※大津高校)に入学、男子1期生として頑張った。昭和25年には野球部が大阪代表として甲子園に出場、三年間応援団長としてがんばって来た、大阪一の応援団長として大喜びで甲子園に出場、秋には私が全日本高校弁論大会に出場晴れて全国三位を得る。この懐かしい思い出を抱いてその後約60年間母校と共に歩む。その後関大法学部に学び

全日本大学弁論大会にて早大を押さえて晴れて全日本準優勝に輝き「西に関大の池田有り」と云われその後和泉市議となる。昭和30年代、昭和40年代同窓会長として歩む。同窓会館を建設。昭和50年代には和泉市長5期20年間は顧問として歩む。市長退任を待っていた様に三たび会長に推され母校創立60年式に先輩山本富士子さんに来て頂き盛會に。以来山根氏にバトンタッチする。以来顧問として相談のつて来た。母校と共に歩んだ半世紀であった。来年の70周年の御盛會を祈るや切なるものがある。今回総会で名誉顧問に御推挙を頂き深謝。

※校名の由来 大阪府立大津高等学校→大阪府立泉大津高校へ名称変更

昭和23年当時は大津高校でしたが昭和25年に野球部が甲子園出場時に滋賀県の津と間違いを避ける為、泉をつけ泉大津高校となりました。

卒業生のひろば

14期



仲尾 芳三

地歴部OBの独り言

昨年ある新聞紙上で伝統ある泉大津高校地歴部が、来春に三年生部員が卒業すれば、一・二年生の部員がいなくて存続のピンチ・廃部になる恐れがある旨の記事を見た。地歴部OBとしては誠に残念であり、何とか部の存続ができないものかと思いつつも、すでに卒業以来四十数年経過している己の立場からは如何ともがたく、これもまた時代の流れかと思わざるを得ない心境であった。

我々が地歴部員であった昭和三十一年代中頃は、学校そのものが遺跡の中にあると言っても過言ではなく、学校から2-300メートル行けば一面の田んぼとため池の池上遺跡（現在の様に池上・曾根弥生遺跡として整備されてなく、国道26号線も通過していない）の田園地帯が広がっていた。

定期的に部員がうち揃い、田んぼの中を歩いて遺物の表面採取に出かけると、石鏃や石包丁、土器片等を必ず何点か発見することができ、遺跡の中を流れていた小川には、弥生式土器の底部がいくつも転がっていたことを記憶している。

また、時には銀輪部隊を編成し、信太山丘陵の信太千塚や弥生遺跡などを調査したり、湯水期には光明池や大野池などにも遠出して、土手の内側に現れた須恵器の窯跡の確認調査をしたほか、当時の地歴部顧問の森浩一先生（現：同志社大名誉教授）などのご指導で夏休みには柏原市の玉手山古墳や高石市の富木車塚古墳、奈良県橿原市の新沢千塚の発掘などに参加させていただき、部室の机の上で

の遺物の整理や土器の接合、図面の作成等々と合わせて、学校内外での活動に熱心に取り組んだものである。

「緑なす穴師の原よ…」の校歌にある通り、我々の時代は貧しかったけれども自然に恵まれた時代だった。遺跡も遺物も我々の手の届くところに転がっていた時代であった様に思う。それが今や都市化の進展とともに道路が作られ、建物が立ち、現在の高校生にとっては、公的な発掘調査などに参加しない限り、石器や土器などを自ら発見し、直接手に取ることはほぼ不可能であると思われる。そういうことも地歴部員減少の要因の一つかもしれないと思う。

我々は既に六十代の半ば、ほとんどの者が勤め先などを定年退職して、時間的に余裕のある身であるところから、当時の地歴部員数名で昔取った杵柄ということで「歴史探会」つまり「歴史探訪の会」を結成し、昨年から月一回、古墳や遺跡、歴史博物館などの巡りを続けており、我々の先人はどこから来て、どんな生活をしていただろうかと永遠の謎の解明に取り組んでいるところである。

仄聞（そくぶん）するに、廃部の危機にあった地歴部に、今年6人の女生徒（1年生）の部員があり、新聞では『歴史』名門・泉大津高校地歴部の休部危機を救うと報じられたが、彼女達の入部により部活の存続が決定できたのは、実に喜ばしいことである。今後の泉大津高校地歴部の発展を心から祈念してやまない。『頑張れ! 泉大津高校地歴部』



玉手山古墳での歴史探会

18期



宮本 正夫 (ただお)

泉大津高校・在校生・卒業生の皆様へ

東北大学大学院国際文化研究科・教授
言語脳認知総合科学研究センター・センター長

僕は1966年の卒業生だ。泉大津高校での3年間はクラス替えがなく、クラスメート達と勉強したというよりは、いつも遊んでいた。

僕達のクラスは、3時間目と4時間目の10分の休憩時間に男女共々が弁当を平らげ、4時間目終了のブザーが鳴り終わると同時に運動場に飛び出し、場所を広く陣取り、50分間まるまるソフトボールをしていた。

進学希望者がクラスに数名程しかいなかった事もあり、授業にはそれほど熱を入れず、僕達の勉学の不甲斐なさにも失望した担任を泣かせた事もあった。

勉強はしなかったが、不良めいたクラスメートもおらず、和気あいあいの3年間であった。

3年間で一番の思い出は、クラスにガールフレンドのいた事。2年間程の交際であった。

手をつないで歩けるような時代ではなく、二人が恋人同士と知る者もクラスにはいなかった。

学校ではお互いに話す事もなく、知らんぷり。でも家に帰っては、毎日手紙を書き、投函し合った。

僕は進学、彼女は旅行会社に就職との事で、会う事もなくってしまった。（出来れば会って一つ謝りたい事がある。）

高校は荒れたという感じはなかったが、今にして思えば、もう少ししっかりと物事、特に英語と数学は、教えておいてもらいたかった。

僕の人生の方向性が狂い出したのは、桃山学院大学の社会学部を卒業してからだ。

中小企業に勤めて一生うだつの上からぬ人生は送りたくないと思い、幼い頃から興味のあった料理の道に進んだ。

神戸・大阪の料亭などで3年半見習いとして勤めた。調理は好きであったが、10畳程の部屋に10人ほどの見習いが雑魚寝する様な板前の世界には慣れ親しむ事は出来なかった。

大学時代にゼミでタイ文化を勉強した事もあり、タイに長期滞在したかった。男性は一生のうちにたとえ2週間でも僧侶としての生活を経験する慣習のある仏教国。

長期滞在の方便として、宗教ビザを取得した。

1年ぐらいつもりで出家したが、良い先生に巡り合い、結局、タイで5年、インドネシアで半年、スリランカで2年半、一般社会から隔離された生活を送った。戒律を厳しく守っていた為、自由に買い物などもする事もなく、在家者達の支援に頼る生活であった。

その在家者の一人が奇麗なカナダ女性であった。禁欲生活をする者にとって、女性には良くない。

結局は、還俗し、彼女の実家のヴィクトリアに結婚の為に移民として渡り、数年前までその地で暮らした。

その間、社会人として働きながら、僧侶時代に興味を抱いた言語学を学ぶ為にヴィクトリア大学に通い始め、学士号、修士号、博士号を取得した。（今はヴィクトリア大学の客員教授でもある。）

数年前に東北大学からの誘いがあり、25年間の結婚も破局を迎え、子供もいない気軽な身であったので、日本に舞い戻って来た。

今年が東北大学での定年退職の年である。後2年程は大学に残り、その後は東南アジアに戻り、仏教を学び直す中で、この世を去る事に決めている。

（仏教は何かを拝む・信じる教えではない。今、誰もが、五感で経験している一秒間の何十分の一の早さで起こっては消え去る現象を、あるがままに、「無常・無我・苦」と理解する事の大切さを強調する認知科学である。）

この様な「ヘンテコな人生」を送って来た僕が、泉大津高校の在校生達に何か言えるとしたら、次の様な事である。

- 1) 自分が人にしてもらいたくない事は、人に対してすべきではない。
- 2) 自分の事ばかり (self-centered) を思うのではなく、人の事 (other-centered) をも思うべきである。
- 3) 自分の人生を他人にゆだねる事のない様に。大きな会社に入れば、あるいは良い人に巡りあえば、幸せになれる等とは思わぬ事。
- 4) 人生は自分が自力で切り開いて行くもの。人に頼る・甘える態度などは、ない方がよい。
- 5) 人にベコベコするのは辛い。馬鹿な人間の下で働くのは、より辛い。その様な環境に自分を置かない為にも、手には職を付けるべきだ。独立精神を持って世を渡るべきだ。
- 6) 人生はチャレンジであるべき。チャレンジ精神は安泰な生活からは生まれるものではない。不安定さ (uncertainty) から生まれるものだ。明日の飯が手に入るかどうか分からぬ環境にあっても、自分が正しいと思う事あるいは全精神を打ち込める様なものを求めるべきだ。その様な人生は、（たとえ、求めるものが手に入らなくとも、）後悔する事のないものだ。

以上である。最後にこの様な自分勝手なことを言える機会をくださった泉大津高校同窓会・事務局・高橋真知子さんに感謝する。

創業享保年間 老舗
奥野晴明堂

代表者 **奥野圭作 (13期)**

本社 堺市堺区市之町東6丁2-15
TEL (072) 232-0405 (代)
FAX (072) 233-7645
URL <http://www.osenkou.com>
e-mail seimeido@orion.ocn.ne.jp

八代目
沈香屋久次郎

一度食べたら
やめられない!

仏印料理
プノンペン

定休日/毎週木曜日と第3水曜日

店主 **平野耕平 (11期)**

〒590-0957 堺市堺区中之町西3丁2-33
TEL.0722-38-3287
<http://www.punonpen.com/>

カンペン

ワールドプレート株式会社

代表取締役 **浅田博昭 (19期)**

〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目2番9号
プラネット南森町6階
TEL (06) 6882-8600
FAX (06) 6882-8607

21期



夏 夕介 の思い出

今年（2010年）1月27日、俳優 夏夕介が胃癌のために59才の若さで亡くなりました。彼は45年前、我が泉大津高校に入学しました。僕と同じクラスでした。

天 野 博

新入生はほとんど丸刈りの坊主頭、中に二人だけが長髪です。その一人が夏夕介（田浦久幸）君でした。（もう一人は、誰やったかなあ）田浦は長髪にウェーブがかかり、ちょっとカフェオレ色で、目元涼しく、鼻筋とおり、日本人離れしたイケ面でした。顔だけでなく、運動能力も抜群で器械体操、陸上と優れた才能をみせていました。また、英語の発音も本格的で、楽器はエレキギターを弾きこなし、多分、女性にはもてもてでしょう。

こう書くと「そんなスーパーマンみたいな。」と思うでしょうが、事実です。そんな田浦とさえない僕の一番の思い出という、いつの頃か（当時、泉大津高校では三年間クラス替えがありませんでしたので、学年の記憶もさだかでありません）下校のタイミングが同じになった日、彼は自転車、僕は松ノ浜駅まで歩いて帰るとき、彼が自転車をおして、二人でゆっくり歩いて駅に着きました。しかし、なんとなく話したりず、そのまま北助松まで、ところがやっぱり別れがたく、電車に乗らず二人で歩きとうとう彼の自宅のある、高石まで歩き通しました。

あの日は何を話していたのやら。彼の家に寄ることも無く、高石駅から電車に

乗りました。ただ、二人歩いていたときの夕焼けがきれいだったなあ。

三年生になって、彼が難波一番のステージに立ちだしたころ、クラスで話し合ったことや、担任（鐸木先生）や友人たちが、高校卒業までとは説得したことなど、いろいろなエピソードがあるようですが、僕はあの日の夕焼けが心に残っています。

去年夏に彼が俳優仲間集まりで、宝塚に来るとのことだったが、まったく連絡がなかった。こちらから連絡すると入院しているという。10月に仕事のついでに日大板橋病院に見舞いに行くと、ことのほか喜んでくれ11月には退院して12月に舞台稽古、2010年1月には舞台があると、元気そうに話していました。クラス会で仲間会うことも楽しみにしていると笑った顔が、忘れられません。

僕はいまでも彼の携帯ナンバーとアドレスを消去していません。多分これらも。



38期



母校に戻ってー 土曜英語講習の状況で報告

安 達 貞 夫

2009年4月25日（土）午前9時、母校にとって画期的な「第一歩」が踏み出された。民間予備校講師が、大阪府立泉大津高校の教壇に立ったのだ。イング予備校・イング英語教育事業部による「泉大津高校土曜英語講習」のスタートである。教室の一番後ろの席でその様子を見守っていた私は、ふと窓の外を見た。そこには20年以上前、高校生だった自分が見ていたのと「全く同じ風景」があった。

泉大津高校から桃山学院大学へ進学。教育実習で母校の教壇に立ち、高等学校社会科教員免許を手にしたものの、当時は教職採用試験が異常な高倍率。また「民間企業ならでは」にも魅力を感じていたことから、選んだ就職先は当時枚方地域にあった進学塾だった。その後イングに移り、塾部門で社会科・国語科指導と大阪市内・堺市内・南河内地域の校長や地域課長を務めたあと、法人委託事業部門・児童英語部門・小学校受験部門の部長職へ異動。現在は英語教育事業部で法人委託事業部門と児童英語部門（イングこども英語スクール・ジョイワールド）が、主な担当だ。

そんな中、泉大津高校土曜講習のご相談を頂いたのは、2008年秋のことだった。当時、独自に大学生講師を雇用されて土曜講習はスタートしていた。ただ「より効果の上がるものを」と竹本校長先生（当時）から同窓会を通じてご相談頂き、土曜講習をプロデュースすることになった。

1年目の結果は、早速出た。近畿大学の一般入試で1名、センター利用入試で1名、それぞれ「合格」を手にしたのだ。泉大津高校生の大半が秋に行われる推薦入試で済ませるケースが多い中、目標としていた近畿大学に一般入試での合格者が出たのは画期的なことである。さらに1年生は英語力の国際評価基準である「TOEIC®テスト」スコアアップ内容をカリキュラムに採用。TOEICのジュニア版である「TOEIC Bridge®テスト」を今春受験した生徒は、全員がスコア100をオーバー。三国丘高校・泉陽高校1年生入学時で120前後、登美丘高校・金岡高校生同条件で90程度ということを見ると、まずまずの結果だと思う。

さらに2年目の3年生でも、推薦入試で京都産業

大学に既に合格者が出ており、これで2年連続産近甲龍クラスへ進学者が出ることになる。近年の進学状況から考えると、大躍進だ。さらに一般入試を受験する生徒もいるので、まだまだわからない。

母校の生徒たちを見て感じることは、「素直な生徒が多い」ことだ。決して真面目ではないが、とにかく素直なのだ。塾部門での教え子何人か泉大津高校へ進学しており、そのことは彼らを見て感じていたのだが、この印象は間違っていないかった。これはすなわち「伸びしろがある」ことを表している。中学内容を再度復習して基礎知識を固め、正しく効果的な指導さえすれば、「そこそこ」の大学には合格できる可能性が高い。その確信を得たのだが、何しろ「進学・就職」が混じる大津高では、通常の授業内だけで進学希望者のモチベーションを上げ、受験指導まで行うのは難しい。そこで土曜講習で「受験のプロ」「英語のプロ」が教えることは、非常にいい方法だ。

高校に入って、個人で塾・予備校へ通うことは、なかなかハードルが高い。意識の面でも費用の面でも、それはいえる。ところが委託契約を締結して校内で実施となると、ふだん通う学校だけに受講しやすいことはもちろん、固定経費や広告宣伝費がかからない分、受講費も格安にすることが可能となる。

具体的なカリキュラムは、以下のように構成している。

- 〈1年生前期〉 基礎英語内容（中学内容）の復習と確認
- 〈1年生後期〉 TOEICスコアアップ指導を活用したセンター英語対策内容
- 〈2年生前期〉 TOEICスコアアップ指導を活用したセンター英語対策内容
- 〈2年生後期〉 大学受験対策内容
- 〈3年生前期〉 大学受験対策内容 ※推薦受験者が多いため後期は個別対応



TOEIC 990点満点の土橋先生



大学受験指導のプロ、小林先生

全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会
赤帽大阪府軽自動車運送協同組合員

あかぽう 荷主さんの心を運ぶ赤帽車

赤 帽 あまの運送店

天 野 博(21期)

〒599-8241 堺市中区福田863-13
TEL 072-237-9902
携帯電話 090-9099-8051

"本物の英語教育が、ここにある"
〈外国人講師による幼児・児童英語指導〉

イングこども英語スクール **和泉中央校**
和泉市いびき野5-1-14
エコービルいずみ栄館3F
東北高速鉄道「和泉中央」下車すぐ

国私立中学受験センターTOPS・スーパー個別指導TOP-ONE和泉中央校 併設
お問い合わせは、0120-815-192（Eメールはイングにまで）

生涯教育機関 **ING イング** 現役予備校（クラス指導・個別指導）
英語教育事業部 部長 安達貞夫(38期)
※詳細は下記まで(小・中学生対象の塾部門併設)
http://www.ing-edu.com
0120-958-192 (堺地域本部)
0120-019-192 (泉州地域本部)
法人委託英語教育プログラム
幼・小・中・高対象総合英語指導プログラム
大学・企業対象TOEICスコアアッププログラム

匠の品質こだわり宣言!

お気に入りの服を、いつまでも美しく

クリーニングの
アンデルセン
旧エンパイヤランドリー

山口美千子（高女5期）

本社 堺市西区浜寺昭和町2丁165
☎261-1725/262-7478

1年生は、入学してすぐのモチベーションの高さもあってか、60～70名が受講、2クラス編成である。単に授業だけでなく、10月には「近畿大学見学会」なども開催。様々な角度から、受講生徒のモチベーションアップを図っている。さらに嬉しいのは、下野校長先生はじめ、山口教頭先生や首席教諭の先生方が、積極的に協力頂いていることだ。本来休めるはずの土曜日に出勤して頂いて校舎の開錠・施錠をされているのはもちろん、案内配布や受講促進、欠席者への対応など、本当によく動かれていて頭の下がる思いである。

考えてみれば、先生方の熱心さも大津高の伝統かもしれない。ただ残念なのは、このことを最も報告したかった恩師のひとりで第14期卒業生でもある竹内道子先生が2010年元旦に亡くなられたことだ（このことに関しては、同窓会ホームページに記事を書かせて頂いているので、ぜひご覧ください）。

最後に、母校を巡る環境を確認しておきたい。大阪府立高校は、2011年4月から制度改革が実施される。上位高校に文理コースが設置され、私立ばかりに充実されることになる。一方で、その他の高校は「独自改革」をしていかなければ、受

験者数に大きな影響が出る。加えて私立授業料減免制度の充実も拍車をかけている。

同レベルの公立高校で、ここまで土曜講習に力を入れているところは、まずあり得ない。私学並みの「サービス」である。「受益者負担」とはいえ、受講料は「超格安」である。このまま続けていけば、今よりレベルアップさせることは決して不可能ではない。ただこれを継続して、さらに充実させていくためには、卒業生全体でのバックアップの有無は大きい。ぜひご協力をよろしくお願いします。



近大見学会では久しぶりに南海バスが旧バス停を活用



「高校3年間」

在校生・卒業生のみなさん、はじめまして。僕は平成16年に卒業した、56期生の平松範大といいます。

平松 範大

泉大津高校での3年間で一言で言うと、「サッカー」です。勉強があまり得意ではなかったので好きなサッカーだけは一生懸命やろうと、小学校からの友人とがむしゃらにやってきました。そのせいか、高校3年間はあっという間に過ぎてしまいました。今思うと、勉強もクラブ活動ももっともっと頑張れたんじゃないだろうかと後悔することの方が多いです。しかし学生生活、クラブ活動を通じて学んだ事はすごくたくさんあります。

1年生の時の、ボール拾いや練習の準備等の雑用。2年生の時はサッカーの事や、卒業後の進路の事で先輩や後輩と夜遅くまで話し、家に帰り母に「帰ってくるのが遅いね!!」と怒られた思い出もあります。3年生になってからは大変でした。クラブではたくさんの後輩をまとめてやっていくというしんどさ。

主将をしていた僕は、周りばかりを気にして自分自身サッカーを楽しんでい

なかった様に思います。この時初めて上に立つしんどさ、責任の重さを知りました。ある意味1、2年生の方が楽でした。学校行事では、体育祭や文化祭も最後の年。クラスメイトみんなで、最後やしめいのないよう盛り上げていこうとダンスの練習や出し物の準備に取りかかり本番の日を迎えたのを今でも覚えています。もちろん大成功でした。

卒業後、就職という道に進んだ僕は、学生と社会人の違いを知りました。出社・退社時の挨拶や勤務態度がそのまま本人の評価につながったりする事や、遅刻や上司の指示に従わないなどは問題外です。そんな時に守ってくれる人も少なく、学校とは違う社会の厳しさに慣れるのには苦労しています。そんな中でも泉大津高校で学んだ、人とのつながりや物事に対して真摯に取り組み楽しむ事、学生の時に支えてくれた家族や先生に感謝しながら、今の厳しい世の中を乗り越えていける様に頑張ります。今から卒業していく生徒達もいつかは大きな壁にぶつかり悩む時が来ると思います。その時に高校3年間で得た事を思い乗り越えていける様に、今でもできる事を目一杯取り組み悔いのない様に過ごしてください。

これからの活躍を楽しみにしています。

同期会報告



いつまでも・いつも仲よし20期生

昭和43年卒業より42年を経た今年9月11日（土）、シティプラザ大阪に於いて、第3回学年同窓会が開催されました。

恩師の武部正夫・堀畑幸次・西前雅司・森口孝己各先生をお迎えし、参加者72名が思いで話や近況報告に花を咲かせ、時の経つのも忘れて楽しく和やかに過ごしました。

残念ながら当日参加できなかった先生方や同窓生の皆様からも多数のメッセージが届き、お互いの繋がりを深めることができました。

私たち20期生は、気さくな現泉大津市長 神谷昇さんやまもつ役の増田登さんをリーダーに、従来から各クラスごとに世話人がいて常に連携を取り合っています。また、学年同窓会を機に、クラス同窓会や部活の親睦会へと広がっているのも喜ばしいことです。

クラスの枠を超え、青春を共に過ご

した仲間の大切さを改めて痛感し「ほんとうに仲の良い学年」であることを誇りに思っています。

そして、この繋がりをいつまでも大事にしていきたいと願っています。

世話人の皆さん、ほんとうにご苦労さまでした。

末筆ながら、泉大津高校の益々の発展をお祈り致します。



創業大正元年（一五三一年）
二〇代目
本家小嶋
泰平餅
茶子餅
（おしるこ）
休業日（月曜日）
大阪府堺市堺区大町西1-2-21
TEL 072(233)1876

HIGASHINO 
総合パッケージカンパニー
代表取締役 東野景一（26期）
株式会社 東野朝商店
〒591-8031 大阪府堺市北区百舌鳥梅北町5丁410
TEL 072-252-0255(代)
FAX 072-259-6568
mail: higashino@higa-o.com

お茶&ギフト全般、祖供養、満中陰志、内祝…
佐島園
佐島勝二（16期）
TEL.0725-21-4871
FAX.0725-31-1147
泉大津市池浦町3-2-16
TEL.0725-23-3354

第33期生クラス合同

卒業後30年近くが過ぎ、完全におじさん、おばさんとなった今、初めてのクラス合同の同窓会を開催しました。

まず、クラスごとの幹事役選出から始まり、当初はクラス違いもあって遠慮がちなところもありました。当然やるかどうかからの話し合いでしたが、開催に向け幹事会を重ねるごとに、皆さんきちんと役割分担をこなしていき、今では新しいクラスの3年0組として「また会おう！」とまでになりました。

11月20日（土）夕刻、地元のホテルレイクアルスターザ泉大津で開催した宴は、男子62名、女子86名の計148名に、恩師6名も来ていただき、本当に賑やかであったという間の楽しい時間でした。クラスの枠を超えた同級生との再会を楽しみにしていた方も沢山いて、幹事一同やってよかったと実感しております。

これを機に、またクラス個別で同窓会をしてもらえれば幸いです。なお、当日の余剰金34,707円は、今年迎える母校設立70周年を記念し、全額寄付することになりました。



40期同期会報告

平成22年8月21日（土）リーガロイヤル堺にて40期生同窓会を書道担任の藤原先生をお迎えし、32名出席のもと開催いたしました。

2月より連絡の着く、幹事さん達に協力してもらい同級生の友達から友達へとメールアドレスを登録して頂き、最終的に100名のメールアドレスの登録がありました。

同窓会当日は、懐かしい話に、皆、笑顔で10代に戻り、あつと言う間の楽しい時間が過ぎました。

40期生（44年4月～45年3月生まれ）の方で、まだメルアドを登録されていない方は、 ohtsukou1969@auone.jpまで、もしよろしければ、名前（旧姓）とメルアドをお知らせ下さい。

40期生同窓会 幹事一同



平成 21 年度当初人事

転出	氏名	転出先
校長	竹本 猛	退職
国語	友松 圭子	退職
社会	長谷川久也	泉南高等学校
数学	西村 直三	高石高等学校
数 学	福田 仁己	退職・豊島高等学校
芸 術	矢内 隆久	退職
英 語	松村 裕司	登美丘高等学校
英 語	山本小百合	泉陽高等学校

英 語	岡本 明美	退職
家 庭	福田 啓子	佐野支援
情 報	大本 照夫	伯太高等学校
主 査	山本あき美	環農水総研
技 職	西形 正夫	退職
非 常 勤	山本みどり	退職
非 常 勤	山田 妙子	退職
転入	氏名	前任校
校長	山口 義昭	信太高等学校
国 語	新階 祥子	堺西高等学校
社 会	茶谷垣内聡	堺東高等学校

社 会	出立 辰典	
数 学	三輪健一郎	信太高等学校
数 学	峯 雅彦	貝塚高等学校
理 科	岸本 淳宏	新規採用
芸 術	野中 珠衣	新規採用
家 庭	矢堅 絵美	新規採用
英 語	池田 晶	泉鳥取高等学校
英 語	磯野美智子	堺西高等学校
情 報	岡田 亮	堺商業高等学校
実 助	吉岡 伴子	本校
主 査	仁井戸宏志	泉南高等学校

平成 22 年度当初人事

転出	氏名	転出先
校長	山口 義昭	長野高等学校校長へ
事務長	七野ルリ子	退職
首席	伊藤 義孝	摂津高等学校教頭へ
首席	前西 巧美	退職・本校
国 語	新階 祥子	鳳高等学校
社 会	出立 辰典	箕面支援学校
数 学	古川 範明	退職・堺上高等学校
理 科	古久保昌子	福泉高等学校

理 科	岸本 淳宏	日根野高等学校
英 語	石崎真理子	鳳高等学校
英 語	前田 敦子	伯太高等学校
英 語	吉田 良男	退職
情 報	岡田 亮	美原高等学校
養 護	木村 奏世	信太高等学校
転入	氏名	前任校
校長	下野 敏幸	佐野工科高等学校校長より
事務長	清水 京子	守口保健所
首席	佐部 孝夫	本校
首席	高崎 克司	泉陽高等学校

国 語	藤原 康男	日根野高等学校
社 会	岡 弘道	新規採用
数 学	射手矢勝次	日根野高等学校
理 科	大田 伸之	砂川高等学校
理 科	戸田 富美	成美高等学校
理 科	山本 祥生	大阪学芸高等学校
英 語	八十川 亘	堺工科高等学校
英 語	松浪志津江	新規採用
英 語	山口 恵美	阿倍野高等学校
情 報	齋川 愛	新規採用
養 護	山中奈美恵	三国丘高等学校(定)
養 護	濱口さやか	岸和田高等学校

(株) 車 谷

代表取締役 車谷 喜博 (18期)

〒595-0035 泉大津市式内町10-22
TEL.0725-33-7178
FAX.0725-33-7187

家族庵

御食事、御宴会弁当承ります。

座古進司 (34期)

〒595-0024 泉大津市池浦町1丁目5-9
TEL.0725-21-6885



弁当・会席料理
出張パーティの
御用命は

高 光
たか みつ

高寺勇三 (34期)

〒595-0024 泉大津市池浦町2丁目13-3
☎ 0120-70-3023
TEL.0725-23-3023

泉大津高校の近況

サッカー部

サッカー部の活動をご支援ください。

保健体育科・サッカー部顧問 佐部孝夫



会員の皆様、初めまして、保健体育科教諭でサッカー部顧問の佐部と申します。本校に着任して3年が経とうとしております。

現在、サッカー部は2年生7人・1年生21人（内女子マネージャー

主催の公式戦（※印＝約200校参加）で大阪府ベスト32以上、U-18サッカー大会では2部昇格、その他の大会では優勝を目標にしております。

私と、鶴田光男コーチ（2002年より指導していただいている外部コーチです）はJFA公認のコーチライセンスを所有しており、毎年研修を受講し、最新の指導法を学んでおります。

その指導の成果が近い将来必ず表れ、会員の皆様方に喜んでいただけたらと報告が

できるものと確信しております。

なお、2009年3月より『大阪府立泉大津高校サッカー部活動日誌』のタイトルでブログを発信しております。本校のHPからもリンクしておりますし、上記タイトルで検索していただければ、ご覧いただけます。

試合予定・試合結果・活動報告等を毎日更新しており、部員・保護者の皆様・本校教職員はもとより、卒業生の皆様・地元住民の皆様、中学生、他校教職員の方々等々にご覧いただき、温かい

ご声援や励ましのお言葉をたくさんいただいております。時には、お叱りのお言葉をいただく場合もありますが、それもサッカー部や私の成長を期待しての事、と受け止め、ありがたく思っております。現在では毎日150～200件のアクセスをいただき、トータルでは間もなく7万アクセスを超える状況です。

今後とも、本校の発展のため、サッカー部の躍進のために尽力していく所存ですので、会員の皆様方には、サッカー部の活動をご支援いただきますようお願い申し上げます。



3人）の28人で日々活動しております。

年間の活動状況をお知らせしておきます。

- ※ 1月～2月 大阪高校新人サッカー大会
- 2月～3月 天理カップサッカー大会
- ※ 4月～6月 全国高校総体大阪府予選
- 5月～7月 大阪U-18サッカー大会（現在3部）
- 7月下旬 堺ユースサッカーフェスティバル
- 7月～8月 堺市種目別優勝大会サッカー高校の部
- ※ 9月～11月 全国高等学校サッカー選手権大阪府大会
- 9月～12月 泉北カップサッカー大会
- 10月～11月 岸和田市民大会サッカー高校の部
- 12月下旬 和歌山県サッカーフェスティバル

◎上記の他に練習試合も実施し、年間約60試合を実施しております。

戦績としては、この3年間で特筆すべきものはありませんが、大阪府高体連

体操部 体操部近況

保健体育科・体操部顧問 峯岡芳隆



同窓会会員の皆様、はじめまして。体操部の顧問をしています保健体育科の峯岡です。泉大津高校に赴任して5年目となります。

はじめに私ごとではありますが、赴任前より前々顧問の森令子先生、前顧問の柳本佳子先生、30期生の濱本匡先生と共に大阪体操協会の仕事をしていました。また、本校体操部にいろいろと協力いただいています24期生の下條利夫先生は私が以前勤務していました高校で前顧問をされていた関係でよく存じていました。そのような泉大津高校に勤務していることに何かしらの「縁」を感じています。

さて、本校体操部は前述の濱本先生が岡山インターハイに、31期生の山中由美さんが福島インターハイに出場した経歴を持つ歴史と伝統のあるクラブです。現在はジュニアチーム出身の者から小学校・中学校での体操経験者、また体操はまったくの初心者と競技経験は様々ですが、3年生女子2名、2年生女子5名、1年生男子4名、女子1名の計12名が活動しています。

体操競技は競技の特性上、自分自身がコツコツと、繰り返し、繰り返し練習に取

り組まなければ技術の向上は望めません。部員はそのことをよく理解し一生懸命、また明るく楽しく日々の練習に取り組んでいます。

今年度の成績は2部ではありますが、高体連春季大会女子団体優勝、2部大会女子団体2位、高校総合大会女子団体優勝、新人大会女子団体優勝をし、各大会で個人、種目別でも優勝・入賞をしました。今年度だけに限らずそれ以前にも、団体や個人や種目別で数多くの優勝・入賞を果たしています。

また、練習施設はこれまでの顧問の先生方のご努力や、学校やPTAのご協力もあり、公立高校ではトップクラスであると思っています。このように恵まれた素晴らしい環境で練習が出来ることを部員と共に感謝の気持ちを持って、これからも好成績が残せるように、またそのことを目標として頑張りたいと思っています。

なお、各大会日程や成績は大阪体操協会ホームページに掲載されていますので、ご覧いただけましたら、また、大会会場や体育館にも足をお運びいただけましたら幸いです。



茶道同好会

国際交流・インターンシップ — 3校種間での国際交流 —

代表会員 山口陽子 指導員 岸田・高橋



H22.2.8(月)大阪観光コンベンション協会のご紹介で、中国山東省煙台市国立煙台大学より、11人の学生さんが来校されました。

当日は、近畿コンピュータ専門学校からも、10人の学生さんがインターンシップの4日目、教員補助として授業に参加しており、高校生・専門学校生・大学生の3校種間での国際交流となりました。2年「情報」の授業では、高校生4人のグループに、専門学校生、大学生がそれぞれ1～2人ついて、協力してコンピュータウイルスに関する課題に挑

戦しました。また、音楽の授業や考古学資料室の見学、陶芸や茶道、振袖の着付けなど、日本の伝統文化も体験してもらいました。茶道部体験では、季節感あふれる美しい和菓子や部員のお点前の所作に感動した様子でした。代表を1人選んでの着付け体験も、羨望の眼差しの中、艶やかな振袖姿が出来上がり、記念に皆さんで茶道部員と撮影をして、交流が和やかに終了しました。

※近畿コンピュータ専門学校からのインターンシップは、昨年から実施しています。今年は10人で、2/3～2/10の期間でした。



紅球院
ハマダ

PHONE.0725-22-1188

駐車場あり

泉大津市東助松町4丁目3-41

- 営業時間 AM8:00～PM7:30
- 定休日 金曜日

うお健ごちそう村!!

〈同窓会、歓送迎会、法事、婚礼に20名～200名までパーティー対応 大ホール完成〉

1F	ビストロ・ラ・サンテ	☎0725-41-0332
2F	中国料理 八仙楼	☎0725-45-0010
3F	和食 うお健	☎0725-45-1122
7F	ステーキハウスジョイブル	☎0725-44-9788

詳細は各店舗へ
お問い合わせ下さい
毎週月曜日を全店
舗定休日とさせて頂
きます。

永山房恵
(14期)

校内幹事報告



20期生 校内幹事
前西巧美

皆さん、こんにちは。同窓会校内幹事20期の前西です。冒頭から私事で恐縮ですが、昨年平成22年3月31日付けで定年退職いたしました。なお4月1日より再任用という事で週3日ですが引き続き母校泉大津高校で勤務しております。今回で3回目となりますが泉大津高校の近況を報告させていただきます。

まず後輩たちの実情ですが、平成21年度やっと各学年8クラス（1学級40人）にそろったのですが、平成22年度入学生より9クラスに学級増され、特に体育祭などのグループ分けなどで四苦八苦していましたが、平成23年度は又8クラスに戻るといって何かどたばたした感じになっており、府の方針に振り回されている感じです。しかし、生徒達はここ数年で一番落ち着いて学校生活を送っているように思えます。

その原因は、色々と考えられるのですがなんといっても教員集団の若返りにあると考えています。ここ2～3年、20代の先生方の採用が増えた為、やっと我が校も『老・中・青』のバランスの取れた教員集団に成り、生徒にとっても居心地の良い場になってきていると感じています。

又、もう一つは土曜日講習の無形の影響力だと思っています。進路指導部を中

心とした多様な生徒のニーズに応える懇切丁寧な指導あつての結果であることは言うに及ばない事です、3年前から始まった土曜日講習の実施によって生徒一人一人がはっきりとした目的意識を持って学校生活を送るようになってきていることも、見逃せない変化だと感じています。

それから、自治会役員についてですが、近年会長以下ほとんどが女生徒であったのですが、今年度後期役員は会長以下全員が男子生徒になりました。何かが変わりつつある前兆なんじゃないでしょうか。大変興味深い出来事だと思っています。

以上が、私の眼から見てこの2～3年間で変わってきたなあと考える事です。

次に、学校の方針として変えた事について報告させていただきます。

①仮進級制度導入

今までは、不認定科目が3科目であれば留年、2科目以内であれば年度末の3月中に不認定科目の追指導・追認定審査を実施し、その結果1科目でも不認定科目があれば留年としていました。しかし、平成22年度より不認定科目が3科目であれば留年、2科目以内なら不認定科目を持ったまま次の学年に進級出来る事になりました。もちろん、4月以降に追指導・追認定審査が各教科で実施されそれをクリアしなければ新学年で1科目でも不認定科目が出れば、3科目不認定と言う事になり留年となります。

②創立70周年を機に制服をモデルチェンジ

平成23年度入学生より新制服になります。詳しくは制服作成委員会報告をご覧ください。

最後になりましたが、平成23年11月19日（土）には70周年記念式典が行われます。同窓会の皆様の有形無形のご支援ご協力を心からお願いして報告とさせていただきます。

事務局より

会報誌発行について

会報誌発行は現在2年に1回発行されています。母校の近況やOBの同窓会活動や近況報告など母校と在校生、OBの架け橋となる媒体であり会員（OB）の年会費と在校生の入会金で運営されています。しかし近年、年会費の納入が厳しいのも事実です。

今年は70周年を控え、より活発な活動と運営を維持するには皆様のご協力が必要です。

会報誌が届いていない場合（又連絡を受けた場合）は下記事務局まで御連絡下さい。

連絡先と部数をお知らせ下さい。会費振込用紙を同封して送付いたします。

●会報誌が届かない理由は以下のことが考えられます。

- ①住所変更等を事務局に知らせていない。
- ②長年にわたり年会費を納入していない場合
- ③住所、名称表記が変わった等

●年会費について

年会費は会報誌に同封されている振込用紙があります。会費は3,000円（1年1,500円で2年に一度会報誌に同封）です。振込用紙は郵便局、コンビニ対応になっております。

ホームページ開設

2009年に同窓会ホームページを開設しました。母校の近況、沿革、同窓会告知案内、同窓会活動をもっと身近でタイムリーに閲覧できます。皆様でつくっていくWEBサイトです。どんどん参加しましょう。

URL：http://www.izumiotsuko-obog.net/

70周年をむかえ協賛をお願いいたします

今年11月で母校は70周年をむかえます。協賛していただけるOBまたは企業、団体、個人は事務局までお問合せ下さい。

こういうときは事務局まで御連絡下さい。

①住所変更等 ②OBが主催する各種イベント ③同期の同窓会、クラス会 ④同窓会の過去の歴史や情報 ⑤紛らわしい勧誘

個人情報の取扱いについて

現在同窓会にて管理されている会員の皆様の個人情報につきましては

- ①同窓会総会等の各種同窓会活動の案内
- ②会報の発送
- ③同窓会名簿の作成

上記①～③のみ利用し、それ以外には利用いたしません。

連絡先 大阪府立泉大津高等学校同窓会事務局

〒595-0012 泉大津市北豊中町1-1-1

TEL・FAX 0725-21-6355

URL：http://www.izumiotsuko-obog.net/

メール：otsu@izumiotsuko-obog.net

毎週月曜日午前中のみ在室しております。

※尚不在時は留守番電話又はFAXにてメッセージまたはホームページからメールにてメッセージをお願いいたします。

独自ドメイン取得 レンタルサーバー
ホームページ製作 各種印刷 データ製作



※ つ・つ・う・ら・うら お店・会社の販促グループ

駒谷 賢治 (38期)

〒592-8341 堺市西区浜寺船尾町東1-137-1 2F

TEL: 072-275-6816

http://www.sakai168.net/

泉大津高等学校 年会費納入のお願い

今年度（2年分一括）年会費の納入のお願い

□年会費は、同窓会運営にとって貴重な財源となっており今年は一括納入の年であります。会報の配布をはじめ、学校教育の支援、総会、周年事業、同期会の助成等、同窓会の活性化に役立てております。

□年会費は会報同封の振込用紙でお願い申し上げます。

振込用紙は、郵便局・ゆうちょ銀行とコンビニ対応の両方からお振り込みが可能です。（払込手数料不要です。）

□コンビニでの振り込みの場合は平成23年12月まで有効ですが期限を過ぎると振り込みが出来ません。

（有効期限を過ぎた場合は郵便局・ゆうちょ銀行でお振り込みください）

□住所変更、物故連絡については通信欄に正確にご記入の上郵便局・ゆうちょ銀行からお振り込みください。（コンビニではお取り扱いできません）

口座番号：00970-0-138050 年会費：3,000円（2年分一括）

加入者名：大阪府立泉大津高等学校同窓会